



WASEDA ROPE

H.28.10.25

## 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

### 広島県教員セミナー 報告書

2016（平成28）年10月25日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」広島県教員セミナーが、広島県教育委員会事務局 教育部スポーツ振興課 課長補佐 黒田康弘氏、同指導主事 光橋健氏、ならびに広島県オリンピック・パラリンピック教育推進校より12名の先生方にご参加いただき、下記の要領で開催されました。

#### 【開催概要】

日時：2016（平成28）年10月25日（火）13時30分～16時30分

会場：広島県立総合体育館ミーティングルーム

主催：広島県教育委員会

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：14名（推進校教員12名、広島県教育委員会2名）

プログラム：

13:30～ 開催挨拶

黒田 康弘 広島県教育委員会事務局 教育部スポーツ振興課 課長補佐

13:35～ 事業説明

光橋 健 広島県教育委員会事務局 教育部スポーツ振興課 指導主事

14:00～ オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の取組について

深見 英一郎 早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授

15:15～ 「体育理論」領域におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進について

杉山 正明 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 事務局長

16:15～ 質疑応答

はじめに広島県教育委員会の黒田康弘氏より教員セミナー開催にあたってのご挨拶をいただいた後、広島県コンソーシアムにおける今後の活動方針や事業の全体像について、広島県教育委員会の光橋健氏よりご説明いただきました。



開催挨拶 黒田康弘氏



事業説明 光橋健氏

光橋指導主事からは、広島県コンソーシアムとしては、今後の事業展開を通して、広島県の子どものスポーツそのものの意味や意義、これからのスポーツの在り方についての深い学びを促し、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて機運を高めていきたい旨のお話しをいただきました。

また今後の事業の進め方について、推進校、広島県教育委員会、早稲田 ROPE の 3 者の連携を図り、今年度については 2016（平成 28）年 11 月～2017（平成 29）年 2 月を目途に、推進校における授業実施や県内の教員向けのワークショップ等を開催していきながら、2020 年まで継続的に事業を展開していくビジョンをご提示いただきました。

続いて、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 副センター長の深見英一郎氏より、改めて本事業の実施に至った背景等を踏まえながら、事業の全体概要ならびにコンソーシアムへの依頼内容や、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けたロードマップについて、1964 年の東京オリンピック・パラリンピック当時の取り組みを踏まえ、具体的にご説明いただきました。

その中で、特に本事業は“オリンピック教育”ではなく、“オリンピック・パラリンピック教育”であるため、オリンピックのみならずパラリンピックへの機運醸成をはかることも重視するものであることや、「スポーツ・フォー・トゥモロー」の理念のもと、広島県と協力して 2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催された後にも、レガシーとして残っていくような取り組みを推進したい旨のお話をいただきました。

休憩の後には、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 事務局長の杉山正明氏より、今後の授業実施の事例として、「体育理論」領域におけるオリンピック・パラリンピック教育の具体像についてお示しいただきました。

事例紹介に先立ち、杉山事務局長からはオリンピック・パラリンピック教育を推進していくうえで柱となる、オリンピックの 3 つの価値（卓越、友情、敬意／尊重）や、パラリンピックの 4 つの価値（勇気、決意、平等、鼓舞）についてご説明いただいた後、IOC の取り組みである「オリンピックの価値教育プログラム」（OVEP）をご紹介いただきました。

また、具体的な授業展開の例として、学習指導要領の内容に準拠した「体育理論」領域の系統的な授業づくりの方法や、児童・生徒向けに本研究センターで作成したポートフォリオ形式の学習資料であるオリンピック・パラリンピックノートの活用方法についてご説明いただきました。



事業展開について 深見英一郎氏



取り組み事例について 杉山正明氏



オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業  
広島県教員セミナー



オリンピック・パラリンピックノート

今後は、各推進校の事業計画をもとに、オリンピック・パラリンピック教育活動を展開していきます。